

自立活動学習指導案(記入例)

日時:令和〇年〇月〇日(〇)〇校時

対象:〇〇学級(〇〇障害学級)

〇年〇名、〇年〇名、計〇名

授業者: 〇〇〇〇

1 単元(活動)名

いろんな場面でナイスな行動!!

2 児童(生徒)について

	学習上・生活上の困難 及び本単元における児童の実態	強みや好きなこと
K ・ K	・集団での場面で友達と折り合いを付けることが難しい。 ・友達と関わりたい気持ちはあるものの、自分の意見だけを主張してしまうため、トラブルになりやすい。	・かるた遊びなどの「数」で勝負するものに夢中になる。 ・発想が豊かで、授業中はよく発言している。 ・他者の気持ちを考えることが苦手だが、「なぜそうなったのか」という理由を考えることは得意である。
〇 〇		

3 自立活動の短期目標及び具体的な指導内容

※「自立活動個別の指導計画」から転記する

※短期目標は、自立活動の区分と項目に触れながら記載する

	短 期 目 標	具体的な指導内容
K ・ K	①場に応じた、他者との具体的な関わりを考えることができる。【3-(2)人間関係】 ②集団生活の中で、適切な行動をしていこうとする意欲の向上を図る。【2-(3)心理】	・自分の考えを伝えたり、相手の意図を受け止めたりする意欲を高めること。 ・他者に対しての関わり方を考えることができること。 ・自分に合った学習の方法を理解することができること。
〇 〇		

4 単元(活動)設定の理由 ※自立活動の区分と項目に触れながら記載する

本単元の目標は、学校生活において他者と関わる場面を想定して、その場に応じた「他者との具体的な関わり方」を考えることである【3-(2)人間関係】。他者と関わる場面において、自分がとる行動には複数の選択肢がある。その中から場に応じて適切に判断

し、その 行動を適切に表現していくことが必要である。まずは、その複数の選択肢を考えたり、どの行動を選択したらより適切なのかを考えたりしようとする気持ちを育てるため【2－(3)心理】本単元を設定した。

5 単元(活動)計画

次	時	指 導 目 標	主 な 活 動
第 一 次	1～2時	・いろいろな関わり方を考えてみよう(個別)	①ワークシートに表されたシチュエーションを基に、どのような関わり方ができるか、考えられるものをできるだけ多く付箋紙に書く。 ②付箋紙に書いたものを、教師に説明する。
第 二 次	3～4時 【本時】 3時	・いろいろな関わり方を考えてみよう(教師と共に)	①ワークシートに表されたシチュエーションを基に、どのような関わり方ができるか、考えられるものをできるだけ多く付箋紙に書く(教師も行う)。 ②教師が書いたものと比べ、「同じ内容のもの」「違う内容のもの」を分ける。 ③自分が書いたもの、教師が書いたもので、それぞれナンバーワンを決める。
第 三 次	5～6時	・いろいろな関わり方を考えてみよう(小集団活動)	①ワークシートに表されたシチュエーションを基に、どのような関わり方ができるか、考えられるものをできるだけ多く付箋紙に書く。 ②友達が書いたものと比べ、「同じ内容のもの」「違う内容のもの」を分ける。 ③自分が書いたもの、友達が書いたもので、それぞれナンバーワンを決める。

6 本時の授業

(1)本時の全体のねらい

(2)本時の個別の目標

	目 標
K ・ K	○同じ場面において、他者に対しての複数の関わり方を考えることができる。 【3－(2)人間関係】 ○教師に対して自分の考えを伝えたり、教師の考えを受け止めたりする意欲を持つことができる。【2－(3)心理】 ○自分に合った学習の方法を理解することができる。【4－(2)環境】

(3)展開

	学習活動	対象	○配慮事項 ◇評価	教材
活動 ① 20分	【個人で考える】 ①ワークシートに表されたシュチュエーションを基に、どのような関わり方ができるか、考えられるものをできるだけ多く付箋紙に書く。 ※①の活動を教師も行う。	K・K	○前時と同じ付箋紙を使用した方法だということを確認する。 ○教師も子どもと同じように付箋紙に書く活動を行うことで、勝負の雰囲気をつくる。 ○ K・K児が多く枚数を書けるようにする。 ◇シュチュエーションに応じた、具体的な関わりについて、自分の考えを書いている。	☆ワークシート ☆付箋紙
活動 ② 10分	【付箋紙のカテゴリー分け】 ①自分が書いたものと、教師が書いたものを見比べ、「同じ内容のもの」「違う内容のもの」を分ける。 ②「同じ内容のもの」には小見出しを考える。	K・K	○「同じ内容のもの」は同じ画用紙に付箋を貼っていく。 ○「違う内容のもの」は、ひとかたまりにしておく。	☆画用紙2枚 ☆マジック
活動 ③ 15分	【ナンバーワン決め】 ①付箋紙の中から、以下の条件でどれがナンバーワンかを選ぶ。 ・いつもの自分がやること ・この方法もいいかも ・やったら良くないもの ・やってみたいもの	K・K	○本児の選んだものを尊重する。 ◇いろいろな考えの中から、行動していこうとする気持ちをもって、条件に応じたものを選ぼうとしている。	

(4)板書計画

(5)場の設定図

(6) 評価

↓なくてもよい

児童・生徒の様子や評価項目		○・×	教師のの手立て等について
○			※授業後に記入する(良かった手立てや改善点等)
○			
○			
○			

<参考文献>

- 「特別支援学級をはじめて担当する先生のための自立活動授業づくり」
菅原真弓・廣瀬由美子 編著 明治図書 2021年